



LINE開発入門～第2回～

LINEのチャットボットを作ってみる



自己紹介

- ▶ 重本 尚志
- ▶ 略歴：
 - ▶ 徳島大学工学部卒業（2008-03）
 - ▶ 独立系IT企業に新卒として入社（2008-04）
 - ▶ C#やJavaを中心（クラサバ多め）に案件を転々とする。
 - ▶ 退職・独立（2017-01）
 - ▶ 株式会社PUreatio設立（2018-12）
- ▶ 趣味：トレーディングカード収集
- ▶ 好きな食べ物：奈良漬、味噌ラーメン
- ▶ 最近稼働が上がり気味



目次

- ▶ LINEとは
 - ▶ 前回のおさらい
- ▶ LINE Developersアカウントでチャットボットを作ってみる



LINEとは

- ▶ LINE株式会社が提供しているSNSサービス
 - ▶ ユーザー同士で無料でチャット、IP電話等が行えるコミュニケーションツール
 - ▶ 2011年6月にサービスが開始されている
- ▶ LINEでできること
 - ▶ チャット
 - ▶ スタンプ送付
 - ▶ IP電話(ビデオ電話)
 - ▶ その他、LINEサービスの利用(ゲーム、LINE Pay等)

LINEとは

国内のMAUは8,100万人以上。
日本の人口の64%以上をカバーしています。



日本の人口の64%以上 ※3




毎日利用している日本国内のユーザー

出典：※1 自社調べ LINEアプリ 月間アクティブユーザー 2019年6月末時点
出典：※2 MAUにおけるDAU = Daily Active User（1日に1回以上利用したユーザー）の割合 2019年6月末時点
※3 LINEの国内月間アクティブユーザー 8,100万人÷日本の総人口1億2631万人(平成31年2月1日現在(確定値) 総務省統計局)




LINE Developersでできること

- ▶ LINE Developersでは以下のことが可能となっている
 - ▶ LINEログイン
 - ▶ MessagingAPI
 - ▶ LINE Bot Designer
 - ▶ LINE Things
 - ▶ Clova Extensions Kit
 - ▶ LINE Pay
- ▶ <https://developers.line.biz/ja/services/>



LINE Developersアカウントでチャットボットを作ってみる

- ▶ 今回作成したもの
 - ▶ 郵便番号を入力して、住所を取得するチャットボット
- ▶ 利用したもの
 - ▶ LINE MessagingAPI
 - ▶ プッシュメッセージAPIを利用してメッセージを送信している
 - ▶ AWS Lambda
 - ▶ Java8(Amazon Corretto)
 - ▶ AWS APIGateway
 - ▶ Zipcloudの住所検索API
 - ▶ <http://zipcloud.ibsnet.co.jp/doc/api>

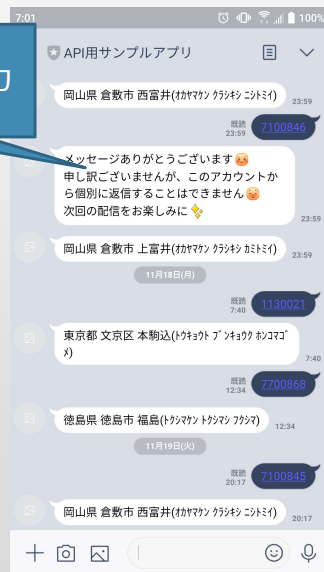


LINE Developersアカウントでチャットボットを作ってみる

- ▶ LINEのアカウントに必要な設定
 - ▶ デフォルト応答文言の設定(任意)
 - ▶ デフォルトで応答文言が設定されているので、不要であれば設定が必要
- ▶ LINEのチャンネルに必要な設定
 - ▶ Webhookの有効設定
 - ▶ WebhookURLの設定
 - ▶ LINEプラットフォームからボットにイベントを送信する際の送信先URL
 - ▶ セキュリティ設定(今回は特に設定していない)

LINE Developersアカウントでチャットボットを作ってみる

① 郵便番号を入力



② 郵便番号送信



② 住所返却



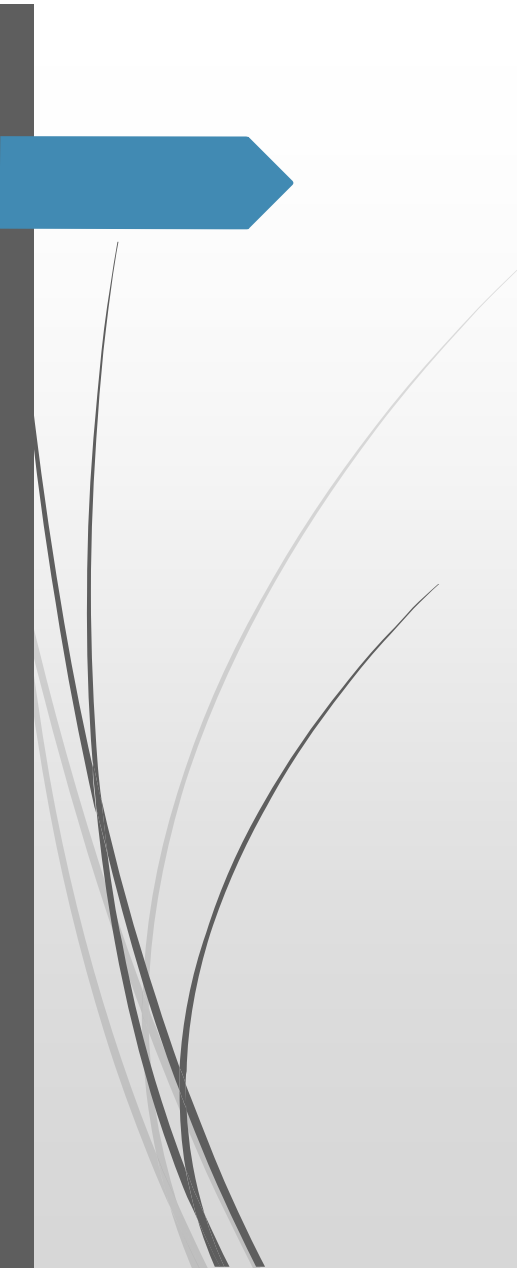
③ 郵便番号から住所を探す





まとめ

- ▶ LINEでのChatbotは外部サーバー(サーバーレスサービス)を利用すれば簡単に作れる。
 - ▶ LINEのチャンネル設定だけではなく、アカウント側の設定も行わないと、デフォルト設定とごちゃごちゃになるので注意
- ▶ メッセージの確認は、LINE bot designerを利用してあらかじめJSONを検討しておくこともできる



ご清聴ありがとうございました